

地域医療の現状や広島県地域医療推進機構（仮称） に期待することについて

～ 広島県地域医療推進機構（仮称）設立検討委員会委員からの御意見 ～

広島での医療活動を考えておられる医師の方へ

広島県地域医療推進機構（仮称）設立検討委員会委員

広島大学ひろしま地域医療協議会会長 茶山 一彰

広島では、現在行政、医師会、大学の教室の三者が医師の生涯教育と人生を考えた上で、広島で充実した医療活動を行っていただけるように、広島県地域医療推進機構（仮称）検討委員会を発足させて検討を行っているところです。

これまでの話し合いの中では、おもに地域枠の奨学金を得た卒業生のキャリアパスをどの様なものにするかについての検討を行っており、専門医指向の医師には専門医を早く取得してもらえるように、総合医を目指す人にはいち早く総合医としての実力をつけていただけるようにするにはどうすればよいかを考え、具体的な案を作成しつつあります。また大学での学位取得に関しても、最短で取得できるような仕組みも作りつつあります。

広島では行政、医師会、大学の関係がとても良好で、いろいろな立場の人に気を遣うことなく、安心して医療が行っていただけるので、ふるさとネットに登録された方にも自信を持って広島での活動をおすすめできます。

ひろしま地域医療協議会は、そのようなネットワークにおける医師の移動の窓口となって、適材適所、個人の希望を最大限に生かした医師配置を行っています。広島で一緒に医療を行っていく仲間が今後増えていくことを期待しています。